



# キャリーセット

エンジン動噴  
ES-10/10DX/15DX専用

(農業・家庭用)

エンジン動噴用キャリーセット  
ESC-1-AAA-0 取扱説明書

- ご使用前に本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 本書はいつでも見られるように、大切に保管してください。

## 安全上のご注意

●ここに示した注意事項は製品を正しくお使い頂き、あなたや他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は次のように区分しています。いづれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

### 警告 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される項目

- ・キャリーの組立は、正しく行って下さい。故障や、ケガの原因となります。
- ・ボルトナット類は工具を使用し確実に締め付けて下さい。使用時や保管中に緩む場合がありますので、時々締め直して下さい。締め付けが不十分だったり、緩んだ状態で使用された場合、故障やケガの原因となります。

### 注意 人が損害を負う可能性や物的損害の発生が想定される項目

- ・弊社製品ES-10/10DX/15DX専用です。他の製品には使用できません。
- ・雨のかからない場所で使用・保管して下さい。
- ・砂地やぬかるみの場所では、タイヤを動かしにくくなりますので、平地のなめらかな場所で使用して下さい。

## 工進 お問い合わせ相談窓口

製品についての取扱い方法・商品選定、購入後1年以内の製品で故障かな?と思ったら...

画面上のココをクリック

パソコン <http://www.koshin-ltd.co.jp>



フリーダイヤル 0120-075-540

お客様サポート

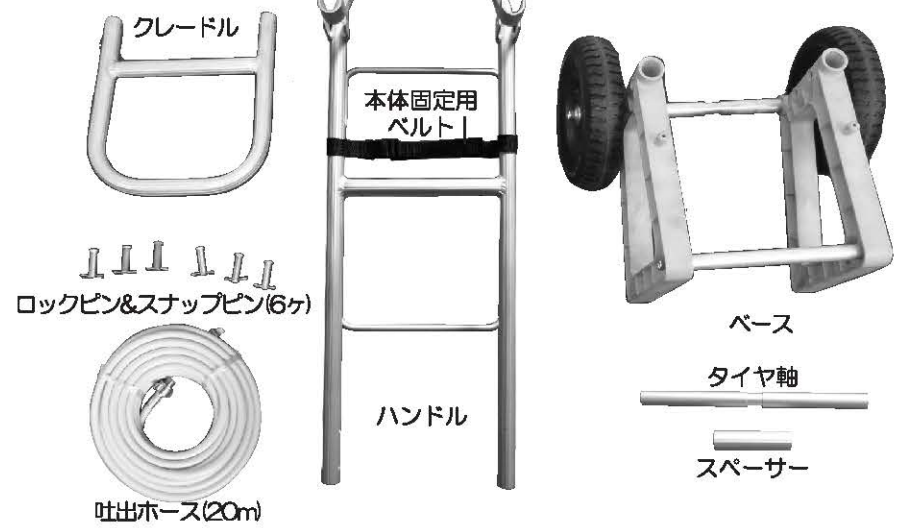
平日:9:00~12:00・13:00~17:00 土曜:9:00~12:00 (年末年始・夏季休暇等・日祝日を除く)

ご購入より1年間は保証がございます。ご購入日がわかるレシート等を保管して下さい。受付時間は予告なく変更される場合がございます。詳しくはホームページをご覧ください。

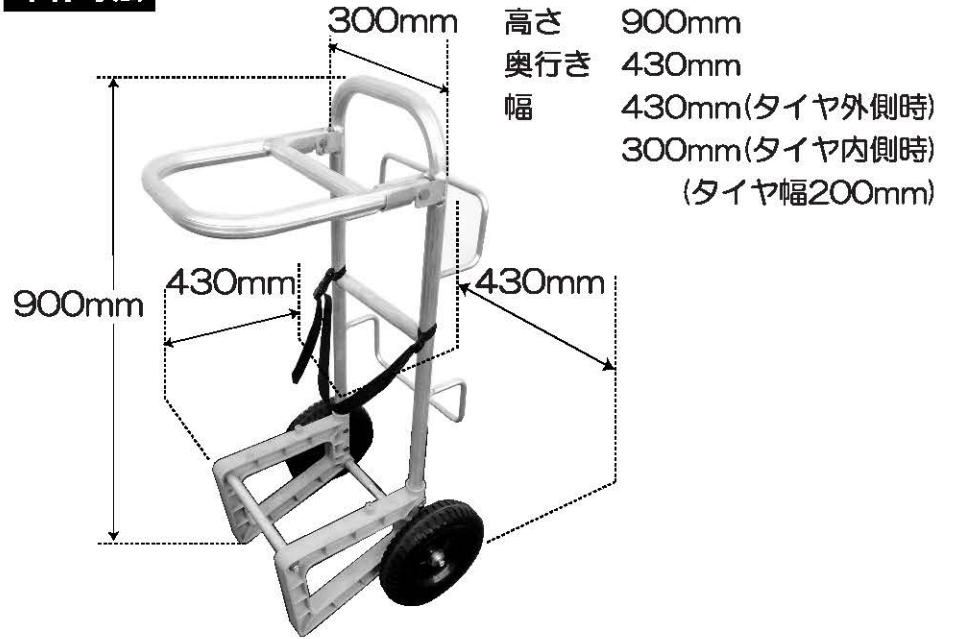
株式会社 工進 本社・工場 〒617-8511 京都府長岡京市神足八ノ坪12

●開梱すると次のような部品が入っています。全て揃っているか確認して下さい。

### 梱包内容



### 本体寸法



## 組み立て方

●順序、注意に従って下記の順序で組み立ててください。

### 〈ベースの組み立て方〉

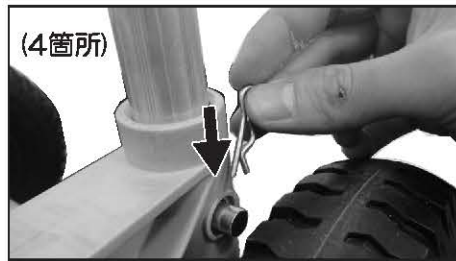
① ベースにハンドルを差込みます。



② 内側からロックピンを差込みます。

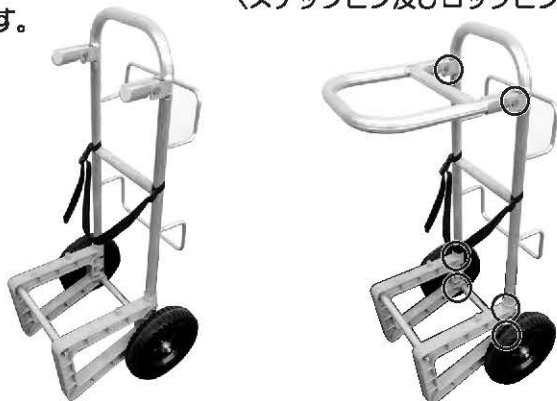


③ スナップピンを差込みます。



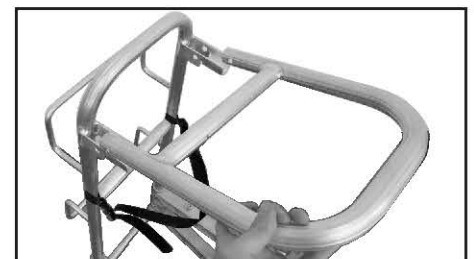
〈スナップピン及びロックピンの差込位置〉

④ ベース部分の完成です。

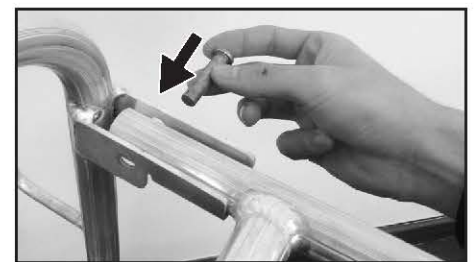


〈クレードル(背負い台)の組み立て方〉 ※必要時以外は付けしないで下さい。

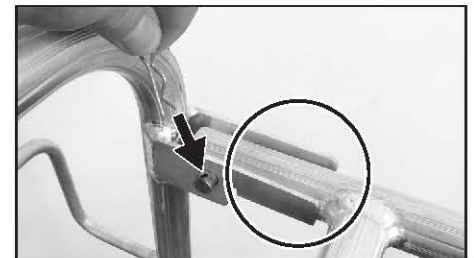
① クレードルをハンドルに固定します。



② ロックピンを差込みます。



③ スナップピンを差込みます。  
※O部分で指を挟まないように  
ご注意下さい。



**注意** 各スナップピン、ロックピンの取付位置は左図を参照し、確実にしっかり取り付けて下さい。

**注意** クレードルは、製品を置いて背負う事が出来る背負い台となりますが、あくまでも補助的な背負い台です。必要時以外は取り付けしないで下さい。

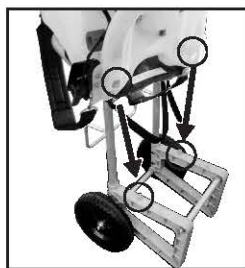
**警告** クレードル(背負い台)取り付け時や操作時は、指を挟まない様に注意して作業して下さい。

**注意** クレードル(背負い台)取り付け状態で移動する際は、クレードルを(ハンドル代わりに)持って移動しないで下さい。



## 動噴本体の設置方法

① 動噴本体の底の穴にベースの凸部分を差込みます。



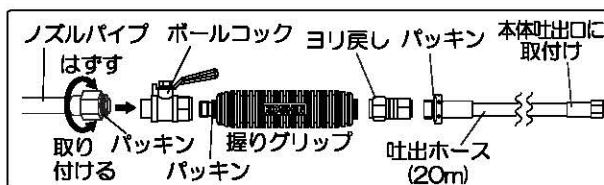
② 動噴本体のベルト類はハンドルのボールにかけて固定して下さい。固定しないと、タイヤの巻き込みや引きずる恐れがあります。



③ 動噴本体をハンドル側にしっかりと押しつけて緩みのないように本体固定用ベルトを締めます。



④ 下図のように、ホースを取付けキャリアセットに付属の吐出ホース(20m)をホースホルダーに巻きまます。※動噴付属の短いホースは使用しません。



※ES-15DXの取付けイメージです



**注意**

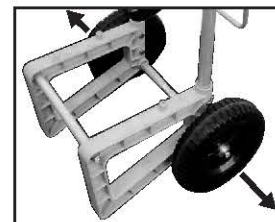
各接続部は、スパナ等の工具でしっかりと締め付けて下さい。緩むと水漏れの原因となります。また、キャリアは転倒させたり強い衝撃を与えないで下さい。キャリアを立てる時はタイヤの軸に足をそえて静かに置いて下さい。強い衝撃を与えると、変形や破損の原因となります。

## タイヤ位置変更の方法

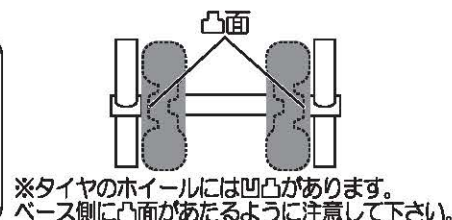
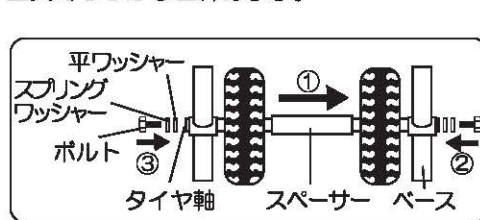
● 幅の狭い場所で使用の場合はタイヤの位置を内側に変えられます。順序、注意に従って下記の順序で組み立ててください。

① ベースのタイヤとタイヤ軸をはずします。

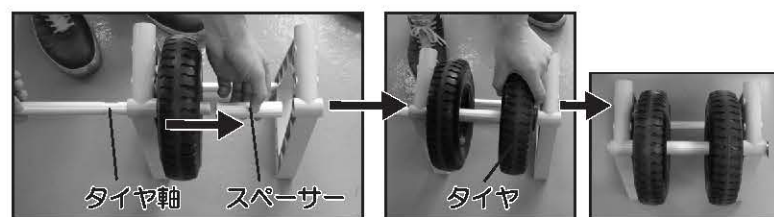
※はずしたタイヤ軸は使用しませんので、箱に保管して下さい。



② 別途付属のタイヤ軸を下記の順にベースに差込み、タイヤ軸の両端にボルトを取付け、工具でしっかりと締めます。



※タイヤのホイールには凹凸があります。ベース側に凸面があたるように注意して下さい。



③ ハンドル部分は表面組み立て方を参照して下さい。

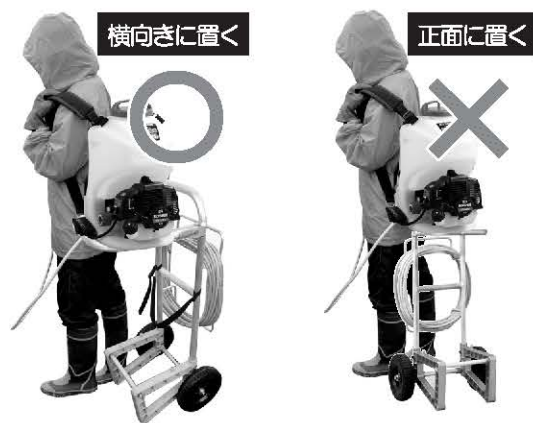


**注意**

タイヤ位置をベースの内側で使用の際は、クレードル(背負い台)は使用しないで下さい。

## 背負い台の使用法

キャリアのハンドル部分に動噴本体を置いて背負うことができます。動噴を置く際は、必ずキャリアの横側で背負って下さい。キャリア正面で背負うとキャリアが動いて、転倒したり、ケガの原因となります。



**警告**

傾斜地や安定しない場所では、背負い台を絶対に使用しないで下さい。また、背負い台使用の際は、製品を確実に置いた事を確認してから背負って下さい。不安定な置き方をすると、ケガや破損の原因となります。



**警告**

クレードル(背負い台)使用の際は、必ずタイヤは外側(タイヤ幅広状態)で使用して下さい。



**警告**

クレードル(背負い台)の上では、薬剤の投入やエンジンの始動は行わないで下さい。



**警告**

クレードル(背負い台)に動噴を置く際は、エンジンスロットルが外側を向く様にし、奥当たりするまでしっかりと乗せて下さい。また、クレードル(背負い台)に動噴を置く際は静かに置いて下さい。変形、破損、転倒の原因となります。



**注意**

動噴を背負う際は、動噴のショルダーベルトやバックルがキャリアに引っ掛かっていない事を確認した上で、注意して行って下さい。

## パーツリスト確認方法

工造製品は全てホームページ上で部品の価格が閲覧できるようになっています。

<http://www.koshin-ltd.co.jp>

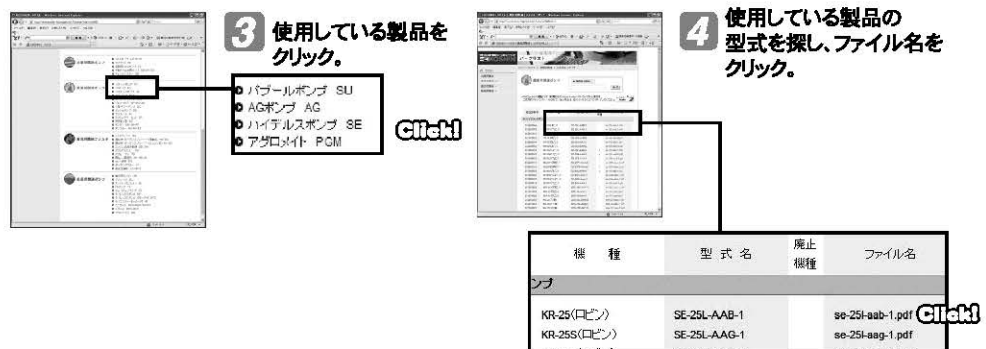


1 トップページの『パーツリスト』バナーをクリック。

2 使用している分野をクリック、または画面を下へスクロール。

3 使用している製品をクリック。

4 使用している製品の型式を探し、ファイル名をクリック。



※価格は予告なく変更することがございます。

**ご注文時のお願い**

部品コードと、部品名、必要な個数を正しくご記入ください。部品コードは、ご記入頂くことで発送が早くなります。